

けんぽく

第18号[平成27年5月号]

県北地方の「食」と「ふるさと」新生運動に関する情報をお知らせします。



平成27年5月29日発行

「食」と「ふるさと」 新生運動ニュース

編集・発行 福島県北農林事務所

◆DATEC主催 消費者交流イベント 「伊達な畑カフェ」が開催されました！

平成27年5月16日（土）、地元の青年農業者組織DATEC主催による消費者交流イベント「伊達な畑カフェ」が、国見町で開催されました。

DATECは、伊達地方の20～40代の若い農業者を中心に農業技術の向上と親睦を目的に活動している組織です。

「伊達な畑カフェ」は、文字どおり、伊達地域の畑の中でカフェを開き消費者との直接交流を図ろうという斬新なイベントです。

当日は雨天となり、DATEC副会長の黒田氏の畑に隣接する納屋での開催となりましたが、伊達地域を中心に約20名が参加しました。



畑カフェを楽しむ参加者達

イベントでは、DATEC会員の畑で採れたいちごや特製のシロップを使用したかき氷などを提供し、参加者はゆったりと果樹園を見ながら会員との交流を楽しんでいました。



リンゴ栽培の説明に耳を傾ける参加者たち

また、納屋の中には黒田家で約100年前に使われていた農機具が展示されていたので、今回は農耕文化を学べる場ともなりました。



麦に土をかけるために使用していた
100年前の農機具を説明する黒田氏

「伊達な畑カフェ」は、会員の畑を持ち回りで開催される予定のため、次回は新たなテーマでの開催に乞う御期待！です。

(伊達農業普及所)

◆「みんなで仲良く田植え体験 in 大玉村」
～消費者参加の田植えツアーを開催～

平成 27 年 5 月 16 日（土）、大玉村大山で、関東圏に展開するスーパーマーケット「いなげや」と J A みちのく安達の主催による「平成 27 年度いなげや田植えツアー」が行われました。

今回の参加者は、「いなげや」で J A みちのく安達管内で栽培された特別栽培のコシヒカリを購入した消費者で、田植えツアーキャンペーンに応募した人の中から抽選で選ばれた関東圏の 12 組の親子 41 名でした。

田植え体験の前に、参加者には「コシヒカリ」と「天のつぶ」で作られたおにぎりや、つきたてのおもち、アスパラガスの天ぷら、豚汁など J A みちのく安達管内で栽培されたお米や野菜をふんだんに使った料理が振る舞われました。また、その席で、安達農業普及所の職員が、福島の米は全量全袋検査によって安心・安全の確保がされていることについての説明や、福島の米のおいしさについての P R を行いました。

水田に移動した後、子供たちに田んぼに慣れてもらうための宝探しゲームが行われました。

その後、J A 稲作部の部長が田植えの方法を説明し、参加者による田植えが行われました。

親に植える場所を教えもらいながら苗を植えて子供や、親の声が聞こえないくらい集中して田植えに励んでいる子供、子供以上に張り切って田植えをする親など、皆、夢中で田植えをしていました。

田植え体験を終えた参加者の顔は、達成感に満ちた笑顔で彩られていました。この体験を通して、農業や福島の農作物の魅力を知っていただけたと思います。

（安達農業普及所）

◆「農地中間管理事業推進連絡調整合同会議」を開催
～県北の農地集積を推進～

平成 27 年 5 月 14 日（木）、県北地区での農地中間管理事業の推進に向けた、第 1 回県北地方農地中間管理事業推進連絡調整合同会議を福島市の J A 新ふくしま北信支店において開催し、県北管内の各市町村、農業協同組合、土地改良区、福島県農業振興公社、県北農林事務所から 52 名が参加しました。

始めに、全体会では県北農林事務所丹治主任主査から県北地域における推進体制の考え方を説明した後、農業振興公社集積推進第 1 課長矢吹氏から農地中間管理事業の概要と推進方策について説明がありました。



全体会議で県北地区の基本方針を確認

福島・伊達・安達の 3 方部に分かれた分科会では、各地方連絡調整会議の設立と、各地区における重点対象地区について検討が行われました。



地方連絡調整会議で方部の課題を検討

今後は各地方で推進会議を開催し、関係機関が連携して農地中間管理事業に取り組み、県北地区における農地集積を推進することが確認されました。

（農業振興普及部）

◆「ふくしま地域産業6次化イノベーターバンク
活用事業」を御活用ください！

「新たに加工・販売に取り組みたい」など6次化を検討されている県内の農林漁業に従事されている皆様、6次化を現在進めているが、「地元で直売所や加工施設があつたらもっと農産物を売れるのに」、「事業化したいのだけど資金面で不安」などの壁にぶつかっている方、県の委託事業「イノベーターバンク制度」(委託先:ふくしま地域産業6次化サポートセンター(福島県農業会議))をぜひ御活用ください。

登録された専門知識を有する約50名の「6次化イノベーター」が、皆様の6次化の取り組みについて、計画づくりから新商品開発、販路拡大、六次産業化法による総合化事業計画の認定に向けたアドバイスなど、全面的にサポートします。

また、県や各市町村、各JAなどが実施する6次化に関する研修会などの講師としても、御活用いただけます。

派遣に係る謝金・旅費は無料ですが、これ以外の経費については事業者の負担となります。また、支援を受ける回数などにも上限があります。詳細は、ふくしま地域産業6次化サポートセンター、又は県北農林事務所までお問い合わせください。

※ふくしま地域産業6次化サポートセンター

URL: <http://www.fnkaigi.com/6ji/index.html>

電話: 024-524-1201

※県北農林事務所企画部地域農林企画課

電話: 024-535-0382

(企画部)



◆けんぽくのうまい郷土料理 いも煮
県北地域の「いも煮」を御案内!!

県北地方振興局から、地元の季節野菜をたっぷりつけた「いも煮」を紹介したチラシ「けんぽくのうまい郷土料理 いも煮」が発行されました。

福島の郷土料理の代名詞、「いも煮」。古くはサトイモの収穫祭から始まったと言われ、今でも福島県民に親しまれている料理です。

チラシでは県北地方の「いも煮」の代表格「味噌いも煮」、二本松市の「ざくざく」、伊達市保原町の「豆っこ汁」、桑折町の「だんご汁」が食べられる飲食店等が紹介されています。ぜひ御覧になって、行ってみてください。

※県北地方振興局(024-523-2364)・県北農林事務所で配布しています。また、県北地方振興局のホームページ(<http://www.pref.fukushima.lg.jp/uploaded/attachment/117016.pdf>)でも御覧いただけます。



表紙



飲食店等の紹介

◆平成27年度「田んぼの学校」開校式を開催

平成27年5月21日（木）、福島市の飯野小学校敷地内水田において、平成27年度「田んぼの学校」開校式が開催されました。

この事業は、福島県が実施する「ふくしまの農育」推進事業を活用して、5年生を対象に今年度から3年間にわたって実施されるものです。

開校式では県北農林事務所所長が挨拶し、児童達に「田んぼの学校」における活動を通して「食べもの・命の大切さ」、「自然と生き物の大切さ」や「ふるさとや地域の大切さ」について学習し、地域の人達や私達に命を提供してくれている食べものに感謝の心を育んでもらいたいことを話しました。



所長の挨拶

その後、「田んぼの学校長」高野久氏から苗の植え方について説明が行われた後、児童達は裸足になり、男子は東側から、女子は西側から苗を植え始めました。

児童の多くは田植えが初めてであるため、田んぼに引かれた線とは異なった場所に苗を植えたり、植え終わった苗を踏んでしまったりと悪戦苦闘していました。



田植えの様子

しかし、田植えを終えた後の「田んぼ」を見渡している児童達には満面の笑みが見られ、「最初はぬるぬるで気持ち悪いが、その後は楽しいね。」「田植えがこんなに難しいとは思わなかったね。」などの感想が聞かれました。

最後に、児童達は「田んぼ」に「ありがとうございました。」と御礼の言葉を伝えて閉会しました。

（農村整備部）

◆ストップ！農作業事故

平成27年4月以降、福島県内では6件の農作業死亡事故が発生しています。県北農林事務所では事故発生防止のための啓発用チラシを作成し、農業従事者に対して、事故の発生防止を呼びかけています。

事故防止のためのチェックリスト付

（農業振興普及部）

ふくしまから はじめよう。「食」と「ふるさと」新生運動県北地方推進本部の構成員紹介コーナー

福島県北森林組合 “未来のための美しい森林づくり” を担っています！

本組合は、平成 19 年 4 月 1 日、県北地区の 4 組合が合併し、福島県北森林組合として設立されました。

現在、県北地区 8 市町村を管轄し、民有林 53,000ha、組合員数 9,095 名で構成され、規模としては県内の森林組合の中では上位に位置する組合となっています。

主な事業としては、管内森林の適切な管理と情報を組合員の皆さまへ提供する指導事業、植栽・保育間伐等を行う森林整備事業、木材の生産を目的とした林産事業、林業用資材等を斡旋する購買事業、更には水林自然林や半田山自然公園の管理業務等を行っております。

また、東日本大震災の影響による林業生産活動の停滞に対処するため、森林所有者に代わって森林整備の推進や、放射性物質対策を講じ、森林・林業の再生を図る「ふくしま森林再生事業」にも取り組んでいます。

近年では、株式会社東芝・福島県北森林組合・福島市・福島県の 4 者により締結した協定森林の、水土保全機能の高い森林育成を目的とした「東芝グループ 150 万本の森林づくり」と称した、「企業の森林づくり」活動を平成 22 年度より行っており、昨年度までに約 3ha、8,000 本以上のスギなどの苗木を、大勢の森林ボランティアの方々とともに植林活動を行ってまいりました。

これからも組合員の皆様のための、そして「未来のための美しい森林づくり」を目指してまいります。



水林自然林



半田山自然公園の半田沼



プロセッサーによる造材作業



ふくしま森林再生事業・放射性物質対策



東芝グループ 150 万本の森林づくり

福島県県北農林事務所 企画部 地域農林企画課

電話 024-535-0382

FAX 024-536-9590

電子メール kikaku.af01@pref.fukushima.lg.jp

